第33回議会力向上会議記録(抄)

(30.4.5)

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

(別紙各資料参照)

1. 議会審議の見直しについて(資料1及び2 参照)

第31回議会力向上会議(平成30年2月6日)において、今年度も引き続き議論することを確認した議会審議の見直しについて、正副座長たたき台案の一部修正が示された。なお、各議員からあった発言内容は下記のとおりであった。

冒頭、座長より、本件についての本格的な議論は、役選後の議会力向上会議で時間をかけて議論し、平成31年の議会改選後に新しい審議方法を適用していきたいとの提案があった。

【正副座長たたき台案の一部修正内容】

- ○本会議における質疑について(資料1)
 - 2・8月の大綱質疑の持ち時間 40分/人 → 20分/人
- ○予算・決算のスケジュールについて
- (1) 決算審査を閉会中に行う → 従来どおり定例会中に行う
- (2) 委員会の開催については、先に予算・決算の審査を終了してから常任委員会の審査を 行う (新規提案)

【各議員の主な発言内容】

大阪維新の会 堺市議会議員団	(委員間討議について)
	・閉会中に委員間討議を実施するにあたっては、議会日程等への配慮
	も必要ではないか。会派内で検討していきたい。
公 明 党 堺 市 議 団	(予算・決算のスケジュールについて)
	・現行(予算・決算審査の分科会を常任委員会終了後に開催)と比較し
	て、議員の発言機会が増えるのではないか。
	・現行では予算・決算審査の分科会と総括質疑の間が2日間のため、理
	事者との十分な答弁調整の時間確保が困難な場合がある。議会の議
	論を深めるために、検討すべきではないか。
	(委員間討議について)
	・閉会中に委員間討議を実施するにあたっては、議会日程等への配慮
	も必要ではないか。
自由民主党・市民クラブ	(予算・決算のスケジュールについて)
	・改選後に向けて、今年度に議論すべき項目を盛り込んだ工程表を示
	されたい。
	(委員間討議について)
	・委員会質問と委員間討議の準備を両方行うのは負担が大きいことか

	ら、会期中であれば議案に限定して実施するか、閉会中に実施した
	方が議論が深まるものと考える。
	(予算・決算のスケジュールについて)
	・着眼点等を整理した上で試行し、検証・修正していくことが大事で
	はないか。
ソレイユ堺	(委員間討議について)
	・所管事務の委員間討議でも各委員から活発に意見が出され、政策提
	案の面などで効果があった事例があるため、委員間討議の対象に制
	約をかける必要はないのでないか。
	(予算・決算のスケジュールについて)
日本共産党	・予算・決算審査の総括質疑を全議員で構成するように、3 日間の分
堺市議会議員団	科会を1つの会場(委員会室)で行い、全議員で構成してはどう
	から
	(予算・決算のスケジュールについて)
	・これまでのように分科会外委員として他の分科会に出席できなくな
	り、発言の制約を受ける。
	・議員の発言権を保障するという観点から、現行(予算・決算審査の
長谷川俊英議員	分科会を常任委員会終了後に開催)と比較して合理性を感じない。
	(委員間討議について)
	・議論を深めるためには委員間討議の時間は現行(30分以内)が果た
	して妥当か。
	・委員間討議の実施時期は会期中に限らなくてもよいのではないか。

【協議結果】

本日の意見等を各会派等に持ち帰り、これをふまえ、役選後の議会力向上会議において、引き続き議論することとした。

また、委員間討議については、議会審議の見直しと併せて、今年度1年間協議を重ねることと し、今年度は試行を続けることとした。

2. 議員を対象とした研修会の公開について

本件については、引き続き、役選後の議会力向上会議において議論することとした。